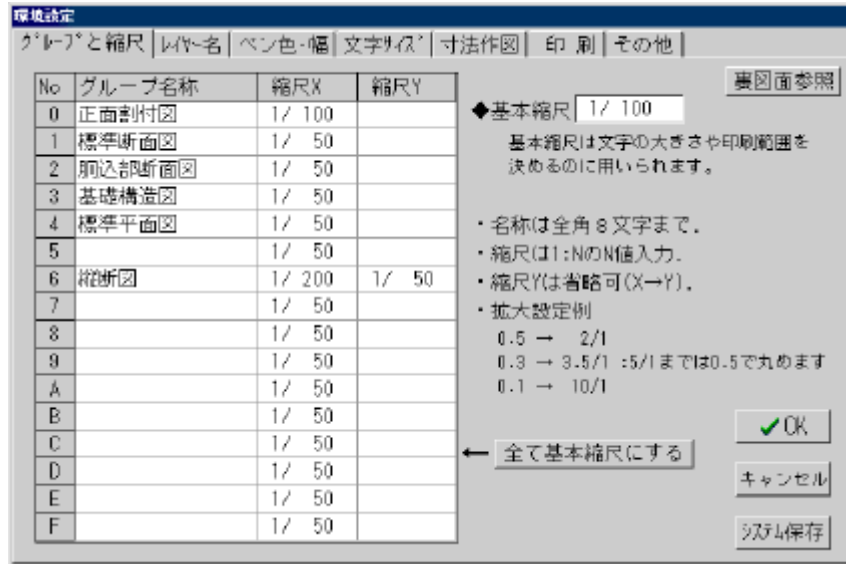


### 3.設定項目

PC定規の動作(表示色、線の印刷幅、文字の大きさなど)は設定画面にて行います。  
設定画面はメニューバーの『設定... (S)』で表示されます。

#### (1)グループ名と縮尺




グループ名と縮尺を設定します。

【グループ名称】は必ずしも設定する必要はありません。(未入力でも良い。)

【縮尺X】は横方向の縮尺です。

【縮尺Y】は縦方向の縮尺です。縮尺Xと同じ場合は空白となります。

・「裏図面参照」をクリックすると、裏面に開いた図面のグループ設定をこちらに複写します。

(裏面 PC定規ではコマンドアイコン [  .ウィンドウ切替 ] をクリックすることによって、表画面、裏画面の2画面で図面を同時に編集することが出来ます。ここでいう裏面とは、ウィンドウ切替によって同時に開いたもう一つの図面のことを指します。)

・「システム保存」をクリックすると現在の設定が新規作成したときのデフォルトとなります。(他の設定も連動して保存されます。)

## (2)レイヤー名



レイヤー名を設定します。

【レイヤー名称】は必ずしも設定する必要はありません。(未入力でも良い)

- ・「名称クリア」をクリックすると、現在表示されているレイヤー名称を全て消去します。
- ・「裏図面参照」をクリックすると、裏面に開いた図面のレイヤー設定をこちらに複写します。
- ・「システム保存」をクリックすると現在の設定が新規作成したときのデフォルトとなります。(他の設定も連動して保存されます。)

レイヤー レイヤーとは透明なフィルムに図をかいたようなものであり、1枚目には製品、2枚目には部品と別々の図をかき、それを何枚も重ねた結果1つの図として見えている状態であると考えて下さい。  
一番上にあるレイヤーが「書き込みレイヤー」と呼ばれ(P63参照)、レイヤーを使うことによって、製品だけを表示したり、非表示にしたり出来ます。

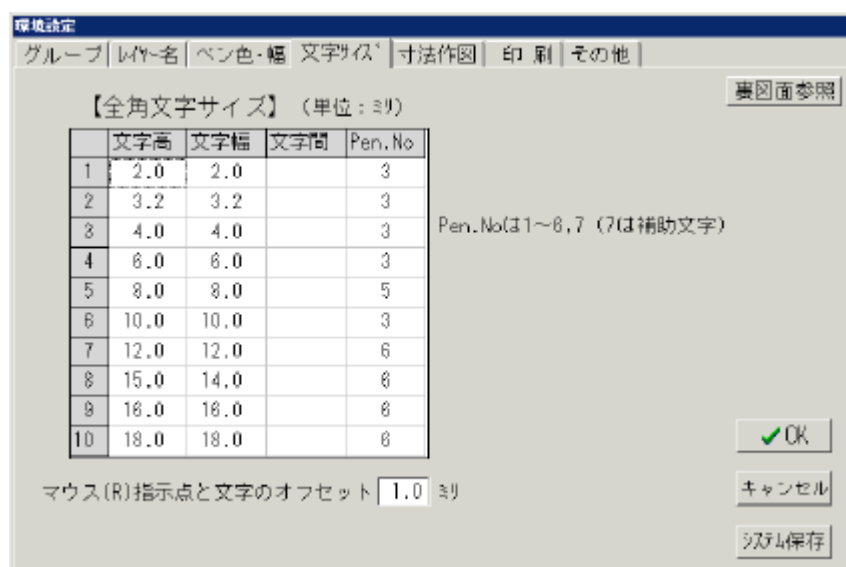
### (3)ペンの表示色と印刷太さ



ペンの色と印刷時の各ペンの太さを指定します。

- ・印刷時の各ペンの太さを0.1～1.0mmの10段階で指定できます。
- ・カラー印刷の際に、一部のペンだけを黒に、残りはカラーで印刷仕分けたい場合は、「カラープリンタで」欄の[黒印刷]にチェックを入れるとそのペン番号のみがモノクロプリンタ使用時と同様に黒で印刷されます。
- ・「表示の線幅も変える」にチェックを入れると印刷太さに連動して表示幅も変わります。
- ・表示の線幅を変えずに（全ての幅が1ドットで）「白黒表示とする」にチェックを入れた場合、印刷太さ1～2が暗いグレー（背景白時は明るいグレー）、印刷太さ3～4が明るいグレー（背景白時は暗いグレー）その他が白色（背景白時は黒色）となります。但し、最も太い線は白色（背景白時は黒色）となります。
- ・背景が白の場合は白で指定したペンは黒で表示されます。またカラー印刷時も同様です。
- ・「裏図面参照」をクリックすると、裏面に開いた図面のペン色・幅の設定をこちらに複写します。
- ・「システム保存」をクリックすると現在の設定が新規作成したときのデフォルトとなります。（他の設定も連動して保存されます。）

## (4)文字の大きさと表示色

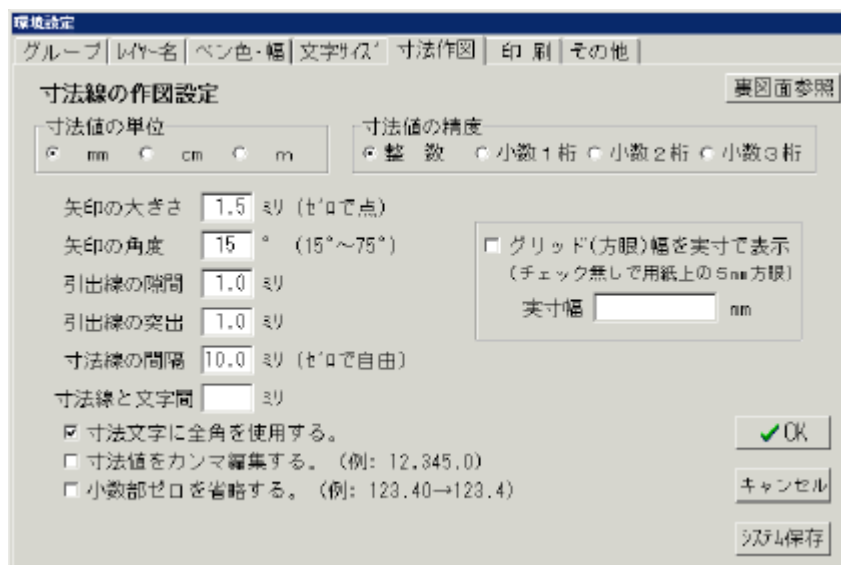


### 文字の大きさと表示色を指定します。

- ・文字サイズは印刷した時の全角文字（漢字など）の用紙上での実際の大きさをミリ単位で指定します。
- ・文字の表示色は「Pen.No」で指定したペンの表示色となります。  
（「ペン色・幅」で設定したPen.Noの色と連動しています。）  
例：「ペン色・幅」でPen.3を緑色に設定した場合  
文字高「2.0」、文字幅「2.0」、Pen.No「3」を指定すると、「2.0×2.0」の大きさの文字は「緑色」で表示される。
- ・「マウス(R)指示点と文字のオフセット」は文字追加や文字移動時のスナップ（右クリックによって図面中の座標を読み取ること）位置と実際の文字位置のオフセット（縦と横）の値です。
- ・「裏図面参照」をクリックすると、裏面に開いた図面の文字サイズと表示色の設定をこちらに複写します。
- ・「システム保存」をクリックすると現在の設定が新規作成したときのデフォルトとなります。  
（他の設定も連動して保存されます。）

《注意》ここで文字サイズ<sup>\*</sup>が昇順（上から小さい順に並べること）に設定されていなかった場合、「Auto-CAD<sup>®</sup>一夕読み込み時の文字サイズ<sup>\*</sup>指定」（P102参照）で「現状の文字テーブルに当てはめる」を選択した時に、うまく再現されないことがあります。

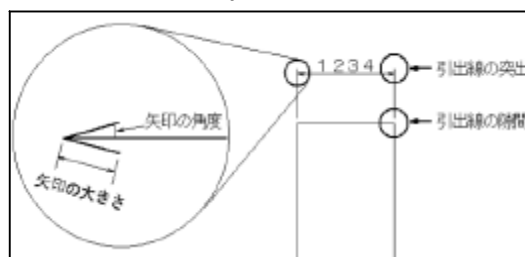
## (5)寸法作図



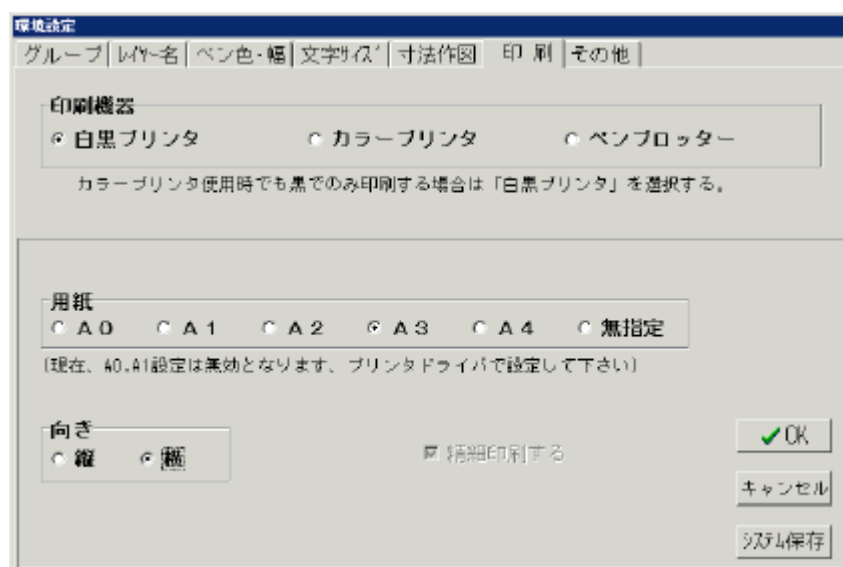
### 寸法線を作成する条件を指定します。

(ミリ：は用紙上の値、mm：は実寸値です。以降も同様に表記しています。)

- ・「矢印の大きさ」は寸法作図時の矢印の横長です。
- ・「矢印の角度」は寸線と片方の矢印線との間の角度です。
- ・「引出線の隙間」は引出位置と引出線との隙間の大きさです。
- ・「引出線の突出」は寸線から引出線が突き出た長さです。
- ・「寸法線の間隔」は寸法作図での寸法線の位置を指定する時の位置指定可能間隔です。値を指定すると引出位置からその間隔での位置にしか寸法線を指定することができなくなります。
- ・「寸法線と文字間」は寸線と文字（数字）との間隔の長さです。
- ・「裏図面参照」はクリックすると、裏面に開いた図面の寸法作図の設定をこちらに複写します。
- ・「システム保存」をクリックすると現在の設定が新規作成したときのデフォルトとなります。(他の設定も連動して保存されます。)



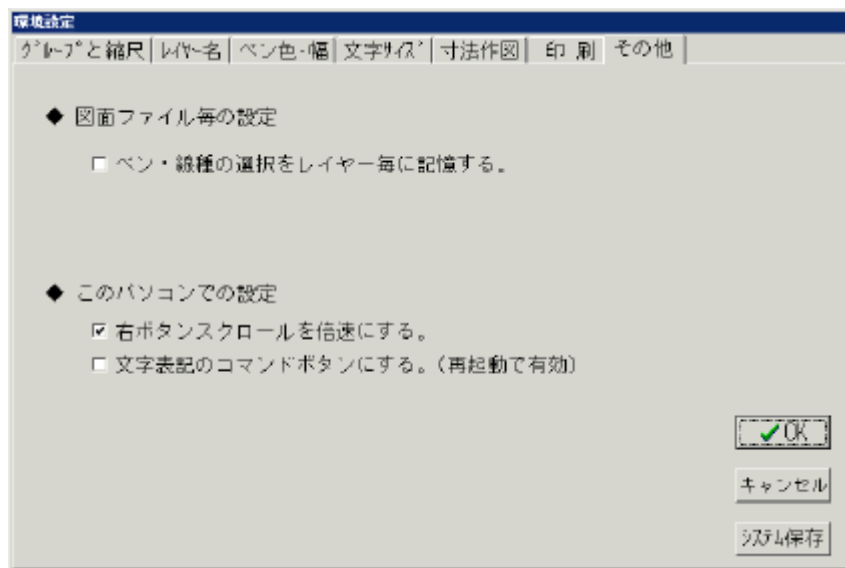
## (6)印刷用紙



### 印刷方法を指定します。

- ・「印刷機器」にカラープリンタを指定し、カラープリンタで印刷すると表示と同じ色で印刷できます。但し白表示の線は黒となります。
- ・ペンプロッターについては表示色をペン番号に対応させる形式のプリンタドライバに対応しています。色情報をプリンタドライバに転送します。
- ・用紙サイズと向きは印刷を指示した際にプリンタドライバの設定に反映されます。A0～A1の設定は現在無効でその後も使用するプリンターおよびプリンタードライバーに依存します。色んなプリンターで印刷する場合は「無指定」を選択して下さい。
- ・最終的な設定は印刷時に表示されるプリンタードライバ画面にて行って下さい。
- ・「システム保存」をクリックすると現在の設定が新規作成したときのデフォルトとなります。(他の設定も連動して保存されます。)

## (7)その他



その他の設定を指定します。

- ・ [ペン・線種を選択をレイヤー毎に記憶する]

Ver 4 からペンの設定をレイヤー毎に別々に記憶させることができるようになりました。以前のバージョンと同じようにペン設定の記憶を全体で1つにする場合はチェックを外して下さい。

例：「ペン・線種を選択をレイヤー毎に記憶する」にチェックを入れ、「OK」をクリックする。

まず、書込レイヤーを「0」にし、書込ペンの表示を「白」にする。次に、書込レイヤーを「1」に書込ペンの表示を「黄」にする。以上を使用するレイヤーの数だけ続ける。

結果 書込レイヤーを「0」にすると書込ペンが「白」に、書込レイヤーを「1」に切り替えると自動的に書き込みペンが「黄」に変更される。

- ・ [右ボタンスクロールを倍速にする]

チェックをすることで、右ボタンスクロール時に(『2. マウスやキーの基本的な使い方』「表示範囲をずらす(その2)」の項(P47)参照)マウスの移動量に対して、図面の移動量がその倍になります。

- ・ [文字表記のコマンドボタンにする]

チェックをすることで、右図のようにコマンドアイコンを文字表記形式にかえることができます。

- ・ 「システム保存」をクリックすると現在の設定が新規作成したときのデフォルトとなります。

(他の設定も連動して保存されます。)

	移動	移動	m
	ハッチ	複写	c
	中心線	消去	d
	属性変更	線/+	x
	文字移動	□	b
	線長→字	複線	f
	矢印	伸縮	t
	寸法線	結合	y
	引出寸法	線切	k
	角度寸法	○	e
	長さ測定	円弧	\
	面積測定	文字	a